▼タイトル▼

仮定法　基礎

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

It’s time that you ［　　　］ to bed, John.  
  
（学習院大）

▼選択肢▼

① are going

② have gone

T③ went

④ will go

▼解説▼

解答：③  
【設問の解説】  
「もう寝る時間よ、ジョン。」  
「もう～する時間〔ころ〕だ」は〈It is time＋仮定法過去〉で表す。仮定法過去を使うので、It is timeのあとの動詞は過去形にするのがポイント。  
It is time S did～「もうSは～する時間〔ころ〕だ」  
また、timeの前にaboutやhighをつけて表現することもある。  
It is about time S did～「もう**そろそろ**Sは～する時間〔ころ〕だ」  
It is high time S did～「もう**とっくに**Sは～する時間〔ころ〕だ」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If you had practiced your talk a few more times it ［　　　］ better.  
  
（慶大）

▼選択肢▼

① had been

② was

③ would be

T④ would have been

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「もう少し話し方を練習していたら、もっとよかっただろうに。」  
if節で使われている過去完了had practicedに注目。**過去の現実に反する仮定**を表すときは、**仮定法過去完了**「もし～だったら、…しただろう（に）」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋完了形〉で表すのがポイント。  
If S had done～, S’ would[could / might / should] have done... .

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

Susan is going to turn down John’s offer! I would not do that if I ［　　　］ her.  
  
（摂南大）

▼選択肢▼

T① were

② had been

③ would be

④ would have been

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「スーザンはジョンの申し出を断るつもりだ。もし私が彼女なら、そんなことはしないのに。」  
主節で使われているwould not doに注目。**現在の現実に反する仮定**や**これからも実現しそうにない仮定**を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋動詞の原形〉で表すのがポイント。  
If S did～, S’ would[could / might / should] do... .  
＝ S’ would[could / might / should] do... if S did～.  
本問のように、if節でbe動詞を使うときは、主語にかかわらずbe動詞はふつうwereを使う。なお、本問の主節は、notがついた否定文「～しないだろう（に）」になっている。  
turn down「～を断る〔辞退する〕」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If I ［　　　］ the money, I could have bought the latest smartphone.  
  
（日本大）

▼選択肢▼

T① had had

② had to

③ have been

④ will have

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「もしお金があったら、最新のスマートフォンを買えたのに。」  
主節で使われているcould have boughtに注目。**過去の現実に反する仮定**を表すときは、**仮定法過去完了**「もし～だったら、…しただろう（に）」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋完了形〉で表すのがポイント。  
If S had done～, S’ would[could / might / should] have done... .  
the latest「最新の」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

［　　　］, I would have passed the exam.  
  
（藤女子大）

▼選択肢▼

T① If I had worked harder

② If I’m working hard

③ If I work hard

④ If I worked little

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「もっと熱心に取り組んでいたら、私は試験に合格していただろうに。」  
空欄のあとのwould have passedに注目。**過去の現実に反する仮定**を表すときは、**仮定法過去完了**「もし～だったら、…しただろう（に）」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋完了形〉で表すのがポイント。  
If S had done～, S’ would[could / might / should] have done... .

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

I ［　　　］ you could stay with me forever.  
  
（藤女子大）

▼選択肢▼

① like

② request

③ want

T④ wish

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「あなたが私とずっと一緒にいられたらなぁ。」  
空欄のあとのcould stayに注目。**現在の現実に反する願望**を表すときは〈S wish (that)＋仮定法過去〉で表す。仮定法過去を使うので、S wish (that) のあとの動詞は過去形のほかに〈助動詞の過去形＋動詞の原形〉を使うこともある。  
・S wish (that) S’ did～  
・S wish (that) S’ could[would] do～  
①③は、ふつう目的語にthat節をとらない。② requestのような**提案**・**要求**を表す動詞のthat節内では、ふつう(should) doの形をとる。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

I wish I ［　　　］ yesterday’s TV program on DVD.  
  
（佛教大）

▼選択肢▼

① was recording

② have recorded

③ can record

T④ had recorded

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「昨日のテレビ番組をDVDに録画してたらよかったのに。」  
yesterday’s TV programに注目。**過去の現実に反する願望**を表すときは〈S wish (that)＋仮定法過去完了〉で表す。仮定法過去完了を使うので、S wish (that) のあとの動詞は**過去完了**にするのがポイント。  
S wish (that) S’ had done～「（あのとき）S’が～すれば〔だったら〕いいのに（とSは思う）」

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

If I had not lost my file, I ［　　　］ the job on time.  
  
（立命館大）

▼選択肢▼

① had finished

② have finished

③ finished

T④ would have finished

▼解説▼

解答：④  
【設問の解説】  
「もしファイルをなくしていなかったら、時間どおりに仕事を終えていたのに。」  
if節で使われているhad not lostに注目。**過去の現実に反する仮定**を表すときは、**仮定法過去完了**「もし～だったら、…しただろう（に）」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形＋完了形〉で表すのがポイント。  
If S had done〜, S’ would[could / might / should] have done... .